



「火の鳥」 撮影：黒江啓介

ももぞの

発行所
社会福祉法人
ももぞの学園
〒701-1461
岡山市北区粟井2788番地
TEL 086-299-0621(代)
発行人 安井 直人
編集人 山本 龍太

就任のご挨拶

吉備自立支援センター

大橋 靖司

令和6年4月1日付で地域事業所の施設長に就任しました大橋靖司です。どうぞよろしくお願ひします。

私は大学在学中に実習に行ったのが縁でももぞの学園に入社いたしました。11年間ももぞの学園で児童指導員を勤めたのち現在は、吉備自立支援センター相談支援事業所『あみーたⅡ』の相談支援専門員として障害福祉サービスの利用に必要なサービス等利用計画を作成しています。

障害児の入所施設から地域生活支援を行っている事業所に異動して感じたのは、今まで問題であったことが一つの手法、一つの答えではなく、様々な資源を活用することで解決することがあるということです。地域の様々な社会資源や関係機関、人をつなぎあわせてご本人さんの「こうあったらいいな」に近づける方法を一緒に考えていく、私たちの仕事は本当にクリエイティブな仕事だと思っています。

一方、少子高齢化の流れもあり、今後いわゆる「親亡き後」について考えていかなければいけない方も増えてきています。地域の中で「困った」「これからどうしよう」などの思いに取り組んでいけるよう法人としても研鑽してまいりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

ももぞの育成園

山本 龍太

平素より、当法人の運営に関しまして、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。この度、令和6年4月1日付で押目前施設長の後任として就任いたしました山本龍太と申します。

令和6年度は、制度改正等が行われ「地域生活を実現する地域づくり」「社会変化等に伴うきめ細やかな対応」「持続可能で質の高いサービス等の実現のための報酬改定等の見直し」が盛り込まれています。

福祉ニーズの複雑化や多様化、社会生活の変化に対応していくために様々な枠組みを超え、横断的、包括的に福祉サービスを提供することが求められます。

今回、施設長を拝命し責任の重さを痛感しておりますが、法人の基本理念であります「ともに生きる社会」を念頭に置き、地域の信頼と共感を大切に、ご利用者の方々の生活に潤いとゆとりが実感できるサービスが提供できるように職員一丸となってご利用者やご家族の想いを大切にしたいと思っています。また、地元住民の皆様からも信頼される施設となるよう日々努力してまいりますので、何卒ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

新任職員紹介

新しい仲間が 加わりました!



ももぞの学園
馬場 悠輔



ももぞの学園
中野 彩暖



ももぞの福祉園
水畑 由子



ももぞの育成園
林 柚希



ももぞの育成園
栗原 真子

社会福祉法人ももぞの学園 公式 SNS について

ももぞの学園の各事業所の取り組みや日々の様子などをInstagram・X(旧Twitter)・Facebookで情報発信しています。発信内容はどのプラットフォームでも同様となっておりますので、是非お好みのソーシャルメディアをフォローし、施設の様子を覗いてみてください。



【Instagram】
@momozono_1968



【X(旧Twitter)】
@momozono_1968



【Facebook】
facebook.com/
momozonogakuen.jp

編集後記

広報委員のメンバーも新たに、今年度初の広報誌が完成致しました。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されて早一年。昨年度はたくさんイベントを行うことができました。今年度も、広報誌やSNSを通じて、皆さんに「ももぞの」をお伝えしていきますので、よろしくお願ひ致します。

(小西)

ももぞの学園後援会への加入のお願い

昭和53年「ももぞの学園後援会」は、市民の立場でももぞの学園を支えて行こうという有志により発足し、以降市民の方々とももぞのをつなぐパイプ役として施設の支援をすすめて参りました。地域福祉の向上と充実に向け更なる支援活動を展開するためにも後援会への加入を広く呼びかけています。

【加入のご案内】 下記のとおり、郵便振替にて承っております。

○法人会員：一口 10,000円

○個人会員：一口 2,000円

記号番号：01290-1-1995

加入者名：社会福祉法人ももぞの学園後援会

〔事務局〕〒701-1461 岡山市北区粟井2788番地
TEL：086-299-0621 FAX：086-299-0618



社会福祉法人ももぞの学園 令和5年度決算報告

■法人単位 貸借対照表 (自)令和5年4月1日 (至)令和6年3月31日 (単位:円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
流動資産	551,846,775	流動負債	141,777,127
固定資産	2,089,357,458	固定負債	359,689,232
		基本金	66,405,576
		国庫補助金等特別積立金	760,916,523
		その他の積立金	210,921,000
		次期繰越活動増減差額	1,101,494,775
資産合計	2,641,204,233	負債・純資産合計	2,641,204,233

■法人単位 事業活動計算書 (自)令和5年4月1日 (至)令和6年3月31日 (単位:円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
サービス活動費用	1,257,689,387	サービス活動収益	1,220,160,129
サービス活動外費用	10,654,212	サービス活動外収益	26,477,779
特別費用	2,440,004	特別収益	25,417,000
小計	1,270,783,603		
当期活動増減差額	1,271,305		
合計	1,272,054,908	合計	1,272,054,908

■法人単位 資金収支計算書 (自)令和5年4月1日 (至)令和6年3月31日 (単位:円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
事業活動支出	1,176,627,667	事業活動収入	1,246,637,908
施設整備等支出	67,613,374	施設整備等収入	2,300,000
その他の活動支出	23,806,743	その他の活動収入	30,047,965
当期資金収支差額	10,938,089		
合計	1,278,985,873	合計	1,278,985,873

生活支援員 林 柚希
ももぞの福祉園
生活支援員 水畑 由子

【令和5年度 寄附者の紹介】
法人及び各事業所へ寄附金、寄附物を賜りまして誠にありがとうございました。

【個人の部】
土師 賢吾、薬師寺 主明、安井 直人、今中 延行、山田 貞秀、原 裕康、黒江 節子、名倉 邦子、福光 則幸、廣川 文恵、中田 光子、坂本さゆり、藤井 和子、佐藤 崇子

【団体の部】
星の村フェスタ実行委員会
ノートルダム清心女子大学附属幼稚園
保護者会
金川地区活性化推進協議会
社会福祉法人 山陽新聞社会事業団
岡山市連合会婦人会
社会福祉法人 ももぞの学園後援会
医食同源社
(敬称略・順不同)

【令和5年度 苦情解決の状況】
療育・支援・介護に関すること (3件)
その他 (3件)

皆様のご厚意に心より感謝申し上げます。
(令和6年3月末日現在)

「子どもたちの想いをカタチに」

ももぞの学園 東郷 結佳

ももぞの学園では、子どもたちが普段どんなことを考えて生活しているのか、どんな悩みを持っているのか、こんなことをやってみたい！等の要望を現場職員・担当職員に相談したりお願いしたりすることが多いですが、「園長とのお話会」と題し年に3～4回程度実施しています！園長が各ユニットを順番に巡り、みんなでお菓子を食べたりジュースを飲んだりしながら、茶話会形式で和気あいあいと行っています。

その中で子どもたちから多かったのが「余暇」に関する要望です。「ダンスの先生に来てほしい」「釣りに行きたい」「たくさんの本が欲しい」「カラオケを設置して欲しい」などなど…。可能なことはどんどん叶えていきますが、試行錯誤しながら取り組んでいます。将来、地域の中で生活する子どもたちにとって自分が好きな余暇や趣味、また、その余暇や趣味を通して人と繋がれるコミュニティがあるということは、とても大きな「強み」になってきます。

子どもたちと一緒に出かけたり、遊んだりしながら、これからも子どもたちとの関わりの時間を日々大切にしていきたいと思えます。幼少期を思い出して、こんなことが楽しかったな、こんなことを教えてもらえて嬉しかったな、という思い出のある方、ぜひももぞの学園の子どもたちに教えにいらしてください♪

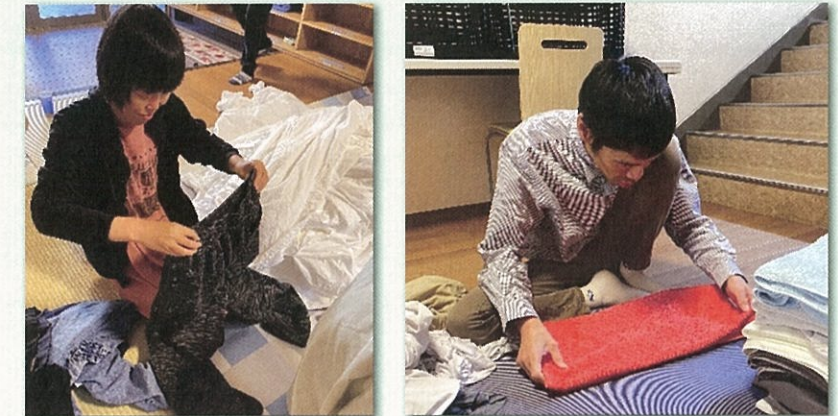


「リネングループがスタートしました」

ももぞの育成園 豊島 文子

ももぞの育成園では、日中の活動として、利用者様が自立した日常生活、または社会生活を営むことができるように支援を行っています。既存の「民芸・神楽グループ」「農園芸グループ」「地域地蔵管理グループ」の3つのグループに加え、地域生活に向けた活動を体験することでより豊かな生活ができるように、令和5年9月より、「リネングループ」を新たに開始しました。

リネングループでは、以前リース業者に依頼していたベッドシーツや布団カバーの洗濯作業(洗濯乾燥機の操作・畳み・仕分け・運搬)を、自分たちで行っています。また、寝具だけではなく、衣類等の園生活で出る洗濯物の洗濯作業も行っています。スタート当初は、1日に出る洗濯物の半分の量ほどの洗濯作業をリネングループが担っていましたが、だんだんと利用者様も活動内容に慣れてこれ、現在では、たった1時間半の間に、1日に出る40名分全ての洗濯作業をこなされるようになりました。活動では、一人ひとりの得意なこと、好きなことを活かしながら、洗濯機の操作をしたり、丁寧に畳んだり、間違いのないように仕分けをしたりと、それぞれの役割をこなされています。生活スキルの向上だけでなく、みんなのためになる洗濯作業に取り組み、「ありがとう」と言ってもらえる経験をたくさん積める活動グループとして、今後も運営していきたいと考えています。



「第一回 福祉園総選挙!!」

ももぞの福祉園 直井 健史郎

今年度、利用者の方々が運営する自治会において、自治会の会長を決める選挙を実施しました。今回の選挙は福祉園では初の試みとなるイベントで、4月末から5月末までに及ぶ長期間かつ大規模なイベントになりました。福祉園総選挙の様子が少しでも伝われば・・・と思います。

今回、出馬を表明して下さいしたのは、「会長になってやる」「今よりもっと良い福祉園を作ってやる」等と熱い気持ちを持った7名の利用者の方々でした。初のイベントということで出馬される方が少ないかと思いましたが、やる気や熱意のある利用者の方々が参加してくれました。

出馬されるそれぞれの利用者の方は選挙ポスターを作ったり、自身をアピールする動画を作ったりされ、それぞれ真剣に準備を進めました。また、「あなたの声を届けます」「ゴミのないきれいな福祉園をつくります」などの公約を掲げて、まさに本当の選挙のような催しとなりました。当選された岩城会長が上手く自治会のメンバーをまとめ、公約が上手くいくのか、意見が上手に反映されて行くことができるのか今から楽しみです。

動画を私自身も視聴させてもらい、利用者の方々の姿を見て、「私自身もっと頑張っていかなければ」と痛感しました。利用者の方々の努力が無駄にならないためにも、自治会から上手く意見を汲み取って反映していき、より良い施設が出来るように全力でサポートします。



「一人暮らしに向けての取り組み」

グループホーム『ももぞの』 西山 紗羅

グループホームももぞのでは、将来ひとり暮らしを希望される方に向けて定期的に勉強会を実施しています。今回は、事前に『現在の自分』『半年後の自分』『一年後の自分』『今すべきこと』についてアンケートを取り、自炊や一人での通院、免許の取得などそれぞれが真剣に考え、自分にこれから必要なことを今後の生活の目標にしました。具体的な目標を設定することで、公共交通機関を利用して目的地へ行く方法を調べたり、免許取得に必要なものを揃えたりと日常生活にも変化が見られています。

今年は1名の方がグループホームからアパートへ暮らしの場を移し、一人暮らしを開始しました。これからも一人ひとりが目標を達成できるようにサポートし、一人暮らしへステップアップしていけたらと思います。



令和5年度社会福祉法人ももぞの学園 事業報告

1.地域への貢献

粟井地区での農業、足守中学校区での高齢者サロン活動、地域での清掃や溝掃除、イノシシ対策など、地域の方とともに実施した。地域行事へ積極的に参加し、こども食堂の運営にも携わる。ももぞの学園の活動の様子を日常的に SNS で発信している。

2.自立支援

令和5年4月から新規事業(生活介護事業)を開業。またミャンマーから技能実習生 2 期生の受け入れを特別養護老人ホームライフケアももぞで行った。家族会が中心となり立ち上げた「特定非営利活動法人こうけんもも」の運営、利用促進を継続し、現在は4人目の法人後見業務を担っている。

3.人材育成・専門性の向上

法人内外において、全ての職員を対象とした研修の計画・実施、人材育成に努めた。また評価制度の継続、法人の事業所を超えた組織として委員会、プロジェクトチームを組み、横断的な課題解決を進めることができた。多様な働き方への対応として役職定年制度、嘱託職員制度、定年後再雇用を実施した。

4.経営の透明化

各事業所が自主評価を実施し、法人のサービス向上委員会で確認を行った。また、児童施設などで自己評価をホームページで公表している。

5.経営の安定

経営コンサルタントの指導の下、管理職による毎月の経営状況と稼働率の確認を継続した。業務省力・効率化の推進として各種システムのクラウド化や ICT の導入を計画的に進めている。

6.整備計画

粟井地区周辺の外構工事等が完了し、維持管理を継続的に実施している。園庭の芝生管理も定期的の実施しており、安全・快適性の向上、学園児童の自主性や社会性の発達を促す場所になっている。

- 〔令和5年度 退職者〕
- ももぞの育成園
 - 生活支援員 亀山 知夏
 - 生活支援員 白根 尚弥
 - 生活支援員 羽田 真之
 - 生活支援員 山本 哲央
 - ももぞの福祉園
 - 生活支援員 羽田 美穂
- グループホーム事業所『ももぞの』
- サービス管理責任者兼生活支援員 岸野 靖之
 - 生活支援員 内藤 夏実
 - ライフケアももぞの 菅井 寛子
 - 看護職員 笹井 寛子
- 〔令和5年度 定年退職・再雇用者〕
- ももぞの福祉園
 - 生活支援員 古賀 繁幸
- 吉備自立支援センター
- 居宅介護員兼活動支援員 原田 玲子
- ライフケアももぞの
- 介護職員 染村 正子
- 皆様の今後のご活躍を
心よりお祈り申し上げます
- 〔令和6年度 正規登用職員〕
- ももぞの学園
 - 保育士 馬場 悠輔
 - 保育士 中野 彩暖
- ももぞの育成園
- 生活支援員 栗原 真子

「ペアレント・トレーニング」

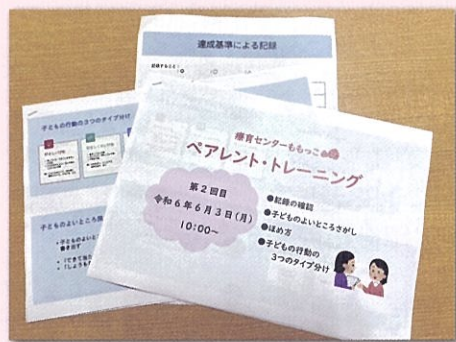
療育センターももっこ 樋口 淳子

児童発達支援事業所「療育センターももっこ」では、新しい取り組みとして、ももっこを利用されているお子さんの保護者の方を対象とした「ペアレント・トレーニング」を始めました。“ペアレント・トレーニングって何だろう？” そう思った方もおられるのではないのでしょうか。あまり聞き慣れない言葉ですよね。

「ペアレント・トレーニング（通称ペアトレ）」とは、保護者が子どもへの肯定的な働きかけや環境調整について学ぶことで、子どもの適切な行動を増やし、関わりがポジティブに変化することを目指そうというプログラムです。お子さんの行動を理解して対応できるようになると、保護者の方の自信にもつながり、お子さんも褒められることが増えて自己肯定感アップ！なんだかいいこと尽くしですよ。

ももっこでのペアトレは全 6 回の講座を予定しています。心理担当職員が講師となり、少人数のグループで実施します。お互いの子育ての悩みを話して共有しつつ、一緒に考えて取り組んでいくことで、「私は一人じゃない、みんなで頑張ろう」と前向きな気持ちになってくださるといいなと思っています。

実際にペアトレに参加された方からは、「子育ての方法についてきちんと教えてもらえることはほとんどない、改めて学べる機会があってありがたい」といった声が聞かれています。ももっこに通ってくるお子さんへ直接支援するだけでなく、こういった形でご家族の方を支援していくことも、私たちの大切な役割だと思っています。



「地域活動支援センター『アラジンII』が閉所しました」

吉備自立支援センター 吉田 碧

平成 18 年より長きにわたりご愛好いただいていた、地域活動支援センター『アラジンII』ですが、令和 6 年 3 月末をもって閉所となりました。これまで季節に応じた創作、散策やドライブ、調理活動など、コロナ禍でも休日の楽しみや居場所となれるよう、活動を継続してきました。事業所を利用させていただくことで、利用者同士の関わりを持つことだけでなく、いろいろな体験を通して余暇活動の充実をはかり、生活の中で楽しみや豊かさの広がりにつながるよう支援を進めて参りました。活動を提供する側ではありましたが、活動を通して利用される方々から逆に笑顔や元気をもらうことが多かったと感じています。これまで、長い間本当にありがとうございました。

引き続き、吉備自立支援センターでは、ヘルパーステーション『ビタミンII』と相談支援事業所『あみーたII』の業務は行っていますので、今後ともよろしくお願いいたします。



「可能性への開放」

ライフケアももぞの 上田 征人

ライフケアももぞのでは、ミャンマーから来日した外国人技能実習生第二期生のウーさん、スーさんがライフケアで働き始めて6月で約半年が経ちました。一期生に日本の文化などを教わりながら一期生の時より早く仕事や生活に慣れてきています。

6月には技能試験を控え、仕事をしながら勉強する忙しい毎日を送っていますが、ご利用者の笑顔を見ると癒されますと言っていました。しっかりと技術を身につけて母国に持ち帰ってほしいと思います。

ライフケアももぞのの短期入所事業では、介護保険の方と障害福祉サービスとの方が一緒にご利用されています。お年寄りの方や障害のある方が一緒に生き生きと過ごされています。

特養・短期入所共に見学の方を随時受け付けておりますのでぜひ一度お越しください。



「2年目を迎えました。」

ばすてるらんぷ 夏井 将行

療育センターももっこ生活介護事業所（ばすてるらんぷ）が開所して2年目を迎えました。定員15名でスタートし現在は17名の方が契約して下さっています。在宅の方やグループホームで生活している方が多く利用されており、アート活動や生産活動・地域活動等を行っています。

活動中の利用者さんの様子を少し紹介します。ばすてるらんぷを利用されている方で重度の知的障がいの方がおられます。その方は苦手な作業がありますが、花のポット作業は得意で活躍されていますし、ポット作業にはなくてはならない存在です。この方だけでなく、できることに着目し活動時間の充実、達成感を感じられるような活動を行なっていくように進めています。また、季節の行事や誕生日会などのイベントも積極的に取り入れ、生活の潤いとなるようにしています。

2年目の事業所で、これから考えていけないといけないこともたくさんありますが、利用者の方に選んでいただける事業所になれるように頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。

